

と も え

No. 33

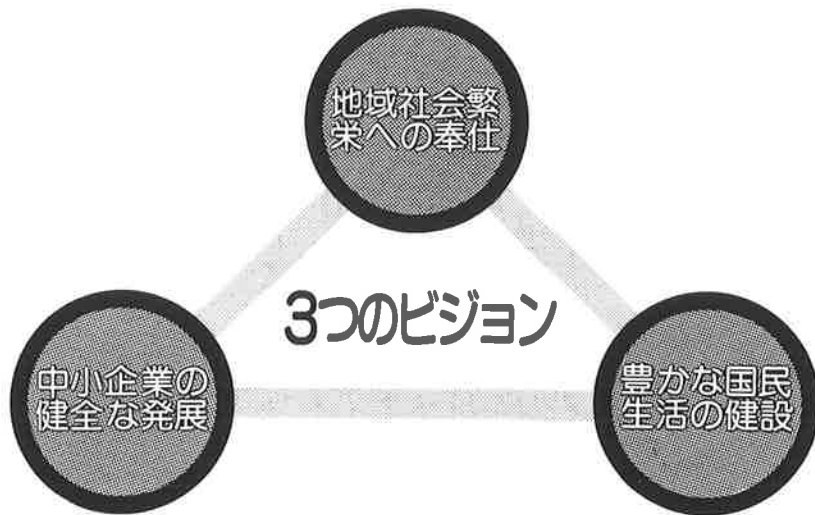


■函館商工会議所報■

1983 7月号

親しめる 頼れる

みんなの商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の現実
にお手伝いいたします。



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町字飯生町30番	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	尻岸内支店	亀田郡尻岸内町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

ともえ

1983 7 No.33

巻頭言

国際博覧会の意義は、広く世界各国の参加を求め、人類の英知を結集し、諸国民間の相互理解を深め、世界の平和と人類の福祉の増進に寄与するとあります。

国際博の歴史を見ると、第一回の国際博は一八五一年にロンドンで開かれ、ガラスと鉄の大建築物が披露されました。それから十八年後、一八六七年（慶応三年）にはパリ万博に日本が初参加しましたが、その物語りはNHKドラマ「獅子の時代」で放映されました。国際博は現在まで二十一回開催されましたが、経済力のあつた欧米の都市がほとんど主催国になっています。

第一次・第二次世界大戦中は中止されていますが、機械文明おう歌の時代、科学と芸術の時代を経て昭和三十年以降は人間性復活の時代、と博覧会のテーマもうつつり変わってきました。

日本では昭和十五年、紀元二六〇〇年記念行事として計画され、東京月島埋立地と横浜山下公園が会場予定地で、前売券も発売されましたが、戦争で中止となりました。高度成長で国力の充実した昭和四十五年（一九七〇年）には、日本を近代化した明治維新から百年目を記念し、アジアで初めての万国博が大坂で華やかに開催され、九十二カ国の参加と六千四百万人の入場者で大成功を収めました。続いて昭和五十年の沖繩国際海洋博覧会が本土復帰の記念行事として沖繩本部半島で開催され三十カ国の参加があり、アクアポリスを残しました。昭和六十年には「つくば科学万国博」が予定されています。「人間、居住、環境と科学技術」がテーマです。

世界の平和を旨とし日本の隆昌を示す国際博覧会が開催されようとしています。素晴しいことです。

目次

- ☑ 巻頭言 1
- ☑ 会議所だより 2~5
- ☑ 調査レポート 6~9
- ☑ アドバイスコナー 10~11
- ☑ 寄稿文 12~13
- ☑ ご存じですか 14~15
- ☑ 制度紹介 16
- ☑ 事務局日誌(6月)・雑感 17
- ☑ ティータイム 18~19
- ☑ 告知板 20



会議所 だより



Shingo

収支決算 57年度 二億八千三百万円承認

本所第二回通常議員総会開催

本所第二回通常議員総会が去る六月二十二日本所で開催され、五十七年度事業報告、収支決算等を審議し、いずれも原案通り承認されました。開会に先だち、春の叙勲で国家褒章を受章した本所西村、津村両議員、この度退任した本所西野前議員、永年勤続職員四人(後記)に対し、日商永野会頭からの賀状、本所



第2回通常議員総会であいさつを述べる川田会頭一本所会議室で

からの表彰状、感謝状及び記念品等が贈呈されました。

総会では、川田会頭があいさつの中で、先ず過去一年間の経済情勢について、「国の基本姿勢は①行財政改革による再建の推進、②内需の回復と貿易摩擦の解消を柱に経済財政の運営が行われた。この三月には原油価格が値下げされたことにより、我が国経済にとって先行き明るい見通しの要素とはなったが、景気基調は依然として低迷している。

特に当地域は一月から五月までの経済指数は若干上向きの傾向を示したものの、倒産件数は高い水準で推移しており、全般的に回復基調にはほど遠い感じである。各企業とも自助努力によってよく耐えてきたが、なお一層努力を重ねて行かねばならない。

最近、二十一世紀展望研究会で中間発表された、新しい青函経済圏の形成に向けての提言は函館市の将

来構想として誠に適確であるが、これには多くの問題を抱えており、会議所はコミュニケーションセンターとしての活動を更に活発化し、部会・委員会を通じ積極的に提言して参りたい」と述べました。

次いで川田会頭が議長となり議事に入り、次の各議案を審議し、それぞれ承認されました。

○五十七年度事業報告。○同収支決算報告(別記)。

次に各部会、委員会の活動についてそれぞれ部会長、委員長から次の通り報告し議事を終えました。

報告事項

- アラスカ水産物直輸入問題
- 空港の国際化
- 二十一世紀展望研究会報告
- 国立大学設置問題
- 街並み保存と観光講演会報告。

▲国家褒章受章議員▼

西村敏雄常議員(勲四等瑞宝章)
津村茂議員(勲五等双光旭日章)

▲退任議員▼

西野吉一議員(函館商工信組理事長)

▲永年勤続職員▼

永田孝一(二十五年) 西村悟、石田宏二(十五年) 池田栄身、日計実、丸山昌己、酒井幸次(十年)

合格品僅か十九点

観光土産品の試買検査成績

本格的な観光シーズンを迎え、観光光館のイメージダウンにつながるような不良土産品を一扫しようと、観光土産品の試買検査会が七月六日本所で開催されました。

これは、みなみ北海道地区観光土産品公正取引協議会が、土産品の過大な包装や不当な表示をチェックし、旅行者に良い土産品を安心して買っていたくため、例年実施しているものです。

この日検査の対象となった商品は、くんせい、昆布、佃煮類等農水産物二十三点、チョコレート、クッキー等菓子類十七点で、函館駅前商店街、朝市、五稜郭公園、湯川温泉街、函館空港等市内全域から無差別に買集められたものです。

審査は、公正取引委員会、消費者協会、保健所の代表等九人の審査員が商品一つ一つを手にとりチェック、更に少しでも疑いのあるものは全員で是非を審議するという厳しい

もので、農水産物二十三点中、合格が十二点、比較的軽微な違反が六点、不合格五点となっており、菓子類では、十七点中、合格七点、軽微な違反九点、不合格一点となっています。

違反の内容をみると、農水産物では、外観を良くみせるための詰め物が多過ぎるもの、商品名と内容物が結びつかないもの等が目立ち、菓子類では、相変わらず製造年月日の欠如しているものが多くなっています。

これら違反商品については、当地区以外の製造元も多く含まれているため、同協議会からの通知のほか、公正取引委員会を通して指導が行われることになっています。

当地区は全国でも特に規制が厳しいこともあり、年々成績は良くなってきたといえますが、それでも「保証付」の土産品は半数にとどまっておらず、業界の一層の努力が期待されます。

昭和57年度函館商工会議所総括収支決算書

自 昭和57年 4月 1日
至 昭和58年 3月 31日 (単位:円)

収入の部

支出の部

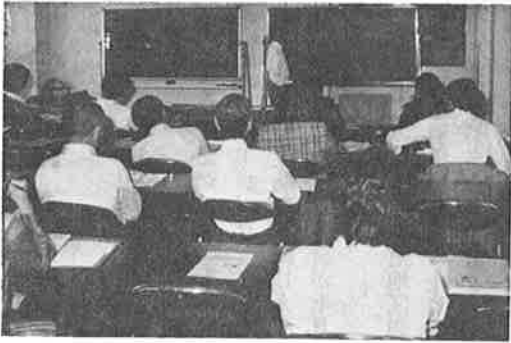
勘定科目		本年度決算額	勘定科目		本年度決算額
款	項		款	項	
1. 会費		109,142,500	1. 事業費		39,437,100
	1. 会費	94,867,500		1. 商工振興対策費	21,927,511
	2. 特別会費	13,455,000		2. 調査模範事業	896,840
	3. 過年度会費	820,000		3. 公共規費	16,055,139
				4. 共済事業	557,610
2. 負担金		4,928,000	2. 管理費		169,078,788
	1. 特商負担金	4,908,000		1. 給付・福利・事務	117,586,646
	2. 過年度特商負担金	20,000		2. 旅・交・生	14,296,653
3. 事業収入		42,220,984		3. 旅・交・生	4,888,465
	1. 商工技術業	1,883,800		4. 旅・交・生	15,393,282
	2. 共済事業	18,785,934		5. 旅・交・生	1,176,419
	3. その他収入	21,551,250		6. 旅・交・生	1,350,509
4. 補助金		64,900,579		7. 旅・交・生	4,748,000
	1. 国・道費補助金	56,300,579		8. 旅・交・生	9,164,814
	2. 市費補助金	8,600,000		9. 旅・交・生	474,000
5. 貸室料		26,526,462	3. 退職給与		15,856,108
	1. 産業会館	19,527,052		1. 退職給与金	7,156,108
	2. 別館	6,999,410		2. 退職給与引当金繰入	8,700,000
6. 雑収入		1,452,143	4. 積立金		3,300,000
7. 議員改選負担金		9,200,000		1. 建物修繕積立金	3,300,000
8. 繰越金		24,995,848	5. 納税充当金		23,570
計		283,366,516	6. 議員改選経費		1,388,499
			7. 繰越金		54,282,451
			計		283,366,516

巡回指導の効果高まる

小規模事業者対象に記帳講習会

わが国の中小企業対策をきめ細かなものとするため、国では昭和三十五年に経営改善普及事業制度を創設、爾来全国各商工会議所、商工会では通産大臣が資格認定した経営指導員を配置、地域小規模事業者の相談指導を行ってきました。

本紙前号で、昭和五十七年度に本



講 習 会 場

所の行った相談指導実績の報告通り本所としては、今後とも積極的に外へ出向く巡回指導体制の強化を図るべく努力しております。

そのような趣旨から、最近の巡回指導の事例を次に紹介いたします。

◇記帳講習会 去る六月二十五日函館駅二商業協同組合へ経営指導員三人が出向き、同組合員に対し記帳の仕方について講習を行いました。

朝市の中で真っ先に再開発に取り組み建物、設備の近代化を図った同組合では、引き続き中味（経営）の近代化に取り組むとの意欲から、現在なお、白色申告で記帳不備な組合員に対し、経営改善のスタートとして正しい記帳を指導したいとの同組合守屋理事長の要請にこたえ実施したものです。当日は、本所が朝市の経営形態に合せ、あらかじめ作成した取引例題に基づき現金出納帳、経費帳の記入法、必要経費科目の分類

等三時間余にわたり基本をみっちり勉強しました。今後は更に指導員が受講した店舗を個別に定期的に訪れ、実地指導をすすめることにしましたのでその効果が期待されます。

◇金融制度説明会 去る六月二十八日、函館青果物商業協同組合と函館中央卸売市場買参者商業協同組合へ経営指導員二人が出向き、会議所が行っている各種事業内容の説明を行ったのち、「小企業等経営改善資金」ほか国、道の各種制度融資のうち同業界として利用しやすい「小口特別資金」などを中心に説明しました。商売柄、早朝のセリ終了後八時三十分から青果物商業協同組合宮崎理事長ら三十五人の両組合員が、終始熱心に配付資料をみつめながら聞き入りました。この説明会は本所が両組合にそれぞれ委嘱している進藤、犬島小規模企業振興委員のお世話により開催されたものです。

説明終了後の懇談で、出席者の自由市場協同組合青年部から記帳講習会の申し入れがあり、会議所の事業を理解し利用してもらえらる巡回相談指導の効果は、益々高まるものと期待しております。

いいメガネを責任をもっておすすめします。

DW メガネの大和

函館市千代台町16番29号 ☎(0138) 52-4034

営業時間 月曜日～土曜日 AM9:30～PM7:30
日曜日 AM9:30～PM5:00

定休日 第四日曜日 駐車場完備

異業種間交流は不況克服の柱

共同受注推進セミナー開催

不況克服に向け、異業種間での交流による共同受注が全国的に関心を集めている中、本所では関係団体との共催による「共同受注推進セミナー」を去る六月二十九日、本所会議室で開催しました。

今回のセミナーは、「テクノポリス函館」の実現に向けた地場産業の育成・振興を一つの目的としており、二次産業を中心とした技術レベルの底上げを計るということから、製造業を中心とした約六十人の関係者が出席しました。

当日は異業種交流による共同受注や新製品開発、市場開拓などに積極的に取り組む、全国的にも成功事例として知られる埼玉県川口市の「マリモグループ」から、中田機械技術士事務所所長である中田賢治氏を講師に招き、グループ結成から具体的な運営に至る体験を実例をまじえて講演願いました。同氏はこの中で、中小企業の変遷変化に対する対応を

「情勢の変化に即応した経営の必要性は認識しても、現実には資金面、人的面のせい弱性から十分な対応ができず、業績悪化を招来し脱落していく企業も多い」と分析した上で、異業種によるグループ化・システム化は、新製品開発、共同受注など活路開拓の手法としては、きわめて有効であり「中小企業は大企業以上に専門技術の蓄積を持ち、それらが結集することにより、社会的ニーズに対応した新製品開発が可能となる。これがひいては受注の拡大にもつながる」ことを力説しました。

異業種間交流の具体的メリットとしては、①情報収集と交換により良質の情報を迅速に入手できる。②共同化による市場の拡大から共同受注が可能となる③設備の共同利用が可能となり、ムダな投資を回避できる。等を具体的に説明し、異業種間交流は現在の厳しい不況を生き抜く対策の一本の大きな柱になりうる点

を強調しました。グループの結成、運営に当たっては、①義務先行の徹底と会員間の信頼感②グループリーダーの決定③内規の明確化等を確立しておく必要性を指摘し、最後に同氏は異業種間交流の成功の可否は、参加会員の「心の問題」に帰着し、参加会員の数、企業規模、設備の良否、技術レベル、等々の問題に左右されるものではないことを強調し、出席者の奮起をうながしていました。

開港125年記念 函館港まつり 8月1日(月)～7日(日)

1日	マーチングバンドフェスティバル	市民体育館 (13:00～15:00)
2～3日	おまつり広場	旧函商跡地 (18:30～21:00)
3日	(ただし3日は 13:00から)	雨天順延
4日	港内見学会	旧棧橋(9:30～10:30～11:30～13:30～)
	万人踊りパレード	銀座通～駅前～グリーンプラザ (17:30～)
5～7日	ハーバーフェスティバル	魚市場周辺 (10:30～20:00) ただし6日は21:00まで
6日	全国花火大会	函館港 (19:30～21:00)
7日	鼓笛吹奏パレード	銀座通～駅前～グリーンプラザ (12:00～13:30)
	歩行者天国	大門通り (13:30～17:00)

スポーツマンの専門店

株式会社 函館スポーツハウス

■本店/函館市松風町16番16号(東映劇場向い)

TEL (代) 22-0307

■支店/函館市本町8番21号(行啓通り)

TEL 55-1800・55-3800

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、月中-0.007%と小幅低下。
 ○銀行券は、月初の還流が順調であったことを主因に月中還収超額は70億円と前年（同58億円）を上回った。

○財政収支をみると、受入れはほぼ前年並みとなったが、公共事業関係の支払い増、簡保貸付増などから、月中払超額は133億円と前年（同117億円）を1割方上回った。
 以上

統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高（10店） 昭和58年6月

品 目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年比(%)
衣 料 品	2,269,618	89.1	89.4
身 回 品	466,846	89.0	89.0
雑 貨	739,009	104.6	99.8
家 庭 用 品	608,319	97.3	105.9
食 料 品	1,572,828	97.3	107.5
食 堂 ・ 喫 茶	174,753	93.2	96.9
サ ー ビ ス	51,382	85.8	96.9
そ の 他	205,625	111.5	105.8
総 額	6,088,380	94.4	97.1

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズプラザ湯の川店の各店をいが。テオー小笠原については食料品を扱っていない。



5月

昭和58年6月28日発表

金融経済概況

日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、漁網、製缶機械が高操業を持続しているほか、段ボール、肥料、生コン等も季節需要に支えられ高水準の生産を続けているが、造船は依然新規受注が不振であるほか、個人消費も乗用車、VTR等一部家電を除き低迷の域を出ていないなど、全体としては伸び悩みの状態が続いている。

こうした状況下、5月時点調査の管内企業短期経済観測調査によると、企業の景況感は依然停滞感が強いが、先行きは全国と同様緩やかな回復が見込まれている。

一方、金融面では、企業需資が引き続き落ち着いた動きを示している。

2. 産業界

○実体経済の動向を主要産業別にみると、生コンは引き続き青函トンネル取付線向け出荷増から、段ボール箱は青果物ケースや北洋サケ・マス用ケースの出荷集中から、それぞれ高操業を持続しているほか、肥料も全農向け出荷が順調でフル操業体制を維持。また、セメントは海外向けスポット受注から操業度を引き上げており、漁網もサケ・マス流し網が一巡し操業度はやや低下気味ながらもなお高水準の生産を続行。さらに、合

板機械、製缶機械は新規受注がまずまずに推移しており順調な操業を維持。

一方、造船は業界動向には若干の環境改善の兆しも窺われるが、新規受注は依然不振で操業度は漸次低下、珍味加工も行楽需要が盛り上がり欠け生産、出荷は引き続き前年を下回っている。

○一次産業面をみると、農作物の生育状況は、最近の不順天候から成育の遅れが懸念されているが、6月央までは全般に順調。一方、漁業では、日本海マス漁は漁模様が低調のまま推移したが、近海マイカ漁は出足としてはまずまずの模様。

○個人消費面をみると、大型小売店では、衣料品の売れ行きがこのところの低温から一部カジュアル衣料を除き全般に伸び悩み気味となっているほか、家庭用品、雑貨類の荷動きも今ひとつ不冴え。因みに、5月中の大型小売店売上高（10か店）は、前年比2.9%増と伸び率はかなり低下（同、3月7.5%増、4月3.5%増）。耐久消費財は、乗用車新車登録台数（5月中）が底固い動きを持続しており、家電製品も、VTRが引き続き好調なほか、電子レンジの荷動きも上向くなど総じて順調。

3. 金融事情（5月中）

○管内金融機関の実質預金は、一般預金は法人、個人ともに不振を続けているものの、公金預金が大型工事関係支払資金等の月末滞留から大幅積み上がりを見たことが影響し月中187億円の増加（前年同78億円増）。

一方、貸し出しは、建設筋のつなぎ需資が幾分増加したものの、企業需資全体では引き続き落ち着いた動きを示しており、加えて地方公共団体からの回収も進捗したため月中7億円の減少（前年同9億円増）。

28.6%減、乾物15.2%減である。

(3) 販売効率

1店当たりの従業者数は、小売業の平均では4.3人となっているが、全道市部平均(5.1人)及び全道平均(4.7人)に比べ低い。

また、1店当たりの年間販売額をみると、小売業の平均は7,041万円(全道市部平均8,947万円、全道平均8,174万円)となり、54年調査に比べ30.2%増加している。

業種別では、各種商品小売業66億757万円と他の業種に比べ高い販売額を示している。

次に、従業者1人当たりの年間販売額をみると、小売業の平均は1,623万円(全道市部平均1,740万円、全道平均1,746万円)となり、54年調査に比べ25.6%増加している。

業種別では、1店当たりの販売額と同様に各種商品小売業2,782万円が最も高い販売額を示しているが、54年調査に比べると4.4%減少している。他の業種は、いずれも増加しており、特に、その他の小売業(82.4%増)が高い伸び率となっている。

なお自動車小売業とガソリンステーションを除いた小売業全体の売場面積は300,521㎡で54年調査に比べ19.2%増となっており、また、商店数は4,409店で2.2%減、年間販売額は2,546億309万円で23.1%増となっている。

1店当たりの売場面積は68.2㎡で54年調査に比べ22.0%増加しているが、1㎡当たりの年間販売額は84.7万円で54年調査の82万円に比べ3.3%増と伸び悩みを示している。

産業小分類別商店数・従業者数・年間販売額

(昭和57年)

産 業 分 類	商 店 数		従 業 者 数		年間商品 販売額 (万円)	増 加 率 (%) 57年/54年	売 場 面 積 (㎡)	増 加 率 (%) 57年/54年
	総 数	増 加 率 (%) 57年/54年	総 数	増 加 率 (%) 57年/54年				
小 売 業	4,620	△ 1.6	20,042	2.0	32,527,746	28.1	300,521	19.2
各種商品小売業	8	△ 11.1	1,900	52.6	5,286,057	45.9	62,930	79.4
百貨店	6	50.0	X		X		X	X
その他の各種商品小売業(常時50人未満の従業者を使用するもの)	2	△ 60.0	X		X		X	X
織物衣服身のまわり品業	630	△ 0.6	2,748	△ 0.7	3,671,376	15.3	57,404	37.6
呉服・服地・寝具業	168	△ 1.8	852	△ 8.6	929,104	2.8	13,406	4.3
洋服業(婦人・子供服を除く)	90	4.7	303	△ 28.9	323,927	△ 38.4	4,853	△ 24.0
婦人・子供服小売業	164	14.7	782	40.1	1,272,462	81.9	20,271	148.8
くつ・はきもの小売業	97	△ 10.2	269	△ 19.5	294,253	△ 8.5	4,519	△ 3.6
その他の織物・衣服・身のまわり品小売業	111	△ 11.9	542	4.8	851,630	24.4	14,355	49.0
飲 食 料 品 小 売 業	2,190	△ 6.0	7,308	2.8	10,119,720	17.0	104,339	△ 2.0
各種食料品小売業	212	△ 3.6	1,677	40.2	3,610,529	48.5	47,217	22.1
酒・調味料小売業	286	△ 1.7	971	△ 3.0	1,857,635	22.2	15,736	△ 3.1
食肉小売業	100	△ 17.4	308	△ 18.9	299,654	△ 28.6	2,407	△ 42.1
鮮魚小売業	210	△ 15.3	568	△ 15.7	806,745	3.6	3,897	△ 23.6
乾物小売業	92	15.0	223	6.7	235,111	△ 15.2	1,240	△ 21.0
野菜・果物小売業	306	△ 10.5	690	△ 13.2	611,751	0.8	7,367	△ 12.4
菓子・パン小売業	417	1.5	999	△ 2.0	661,417	7.0	10,129	△ 2.2
米・穀類小売業	147	△ 8.1	410	△ 7.9	783,405	7.4	5,304	△ 3.4
その他の飲食物品小売業	420	△ 7.9	1,462	5.2	1,253,473	△ 1.3	11,042	△ 32.8
自動車・自転車小売業	180	13.9	1,449	△ 9.4	3,149,112	△ 5.0	3,338	△ 18.8
自動車小売業	109	23.9	1,288	△ 11.0	3,033,100	△ 6.4	—	—
自転車小売業	71	1.4	161	5.9	116,012	56.7	3,338	△ 18.8
家具・建具・什器小売業	387	△ 5.4	1,383	△ 17.6	1,925,986	△ 4.4	29,821	9.1
家具・建具・畳小売業	77	△ 3.7	339	△ 16.7	652,375	9.5	13,789	9.2
金物・荒物小売業	73	△ 3.1	208	△ 10.0	262,572	26.3	4,330	2.9
陶磁器・ガラス器小売業	20	△ 16.7	71	2.9	47,022	32.6	1,018	△ 8.9
家庭用機械器具小売業	213	△ 2.3	755	△ 21.5	953,600	△ 18.5	10,550	13.4
その他の什器小売業	4	33.3	10	11.1	10,417	122.6	134	91.4
その他の小売業	1,225	5.9	5,254	△ 0.1	8,375,495	82.3	42,689	13.7
医薬品・化粧品小売業	227	10.7	549	△ 24.8	648,348	24.1	7,354	10.8
農耕用品小売業	15	25.0	60	71.4	158,083	440.8	1,102	92.3
燃料小売業	206	7.3	1,055	7.5	5,077,292	165.7	3,924	7.0
書籍・文具小売業	200	5.8	2,002	10.9	757,948	18.0	8,085	22.8
中古品小売業 (中古自動車・自転車を除く)	32	33.3	59	55.3	22,371	93.2	889	55.7
他に分類されない小売業	545	1.9	1,529	△ 8.2	1,711,453	15.7	21,335	9.4

(注) 飲食店は含んでいない。

経済の窓

昭和57年

商業統計調査

函館市の「昭和57年商業統計調査」結果の概要については、4月号で掲載しましたが、今回は小売業だけを取り上げ業種別や販売効率等についてお知らせします。

(1) 商店数

小売業の商店数は4,620店で、54年調査に比べ1.6%減少している。47年以降、一貫して増加していた商店数の伸び率は今回調査で減少に転じた。

商店数を経営組織別にみると、法人が1,620店で54年調査に比べ7.1%増、個人が3,000店で5.7%の減となっている。

経営組織別の構成比は、法人が35.1%と54年調査に比べウエイトを高めた反面、個人では低下している。

また、商店数を従業者規模別にみると、1～2人が2,686店、3～4人が1,091店、5～9人が577店、10～19人が154店、20～29人が45店、30～49人が33店、50～99人が23店、100人以上が11店となっており、54年調査に比べ増加しているのは、20～29人(28.6%増)、100人以上(57.1%増)で、大規模階層での増加率が高かった。これは、55年8月以来、外来大型店が出店し始めたためである。これに対して従業者20～99人の中型店の伸び率は鈍化している。

従業者規模別の構成比は、1～2人の規模

が58.1%と小売業全体の過半を占め、次いで3～4人の規模が23.6%となっており、4人以下の規模で小売業全体の81.7%(全道市部平均74.9%、全道平均76.6%)を占め、小規模過多性を示している。

次に、商店数を業種別(中分類)でみると、54年調査に比べ、自動車・自転車小売業(13.9%増)及びその他の小売業(5.9%増)が比較的順調な伸びを示したが、他の業種では伸び悩み、特にウエイトの高い飲食料点小売業(6.0%減)が不振であり、そのなかでも、食肉(18.9%減)、鮮魚(15.3%減)野菜・果物(13.2%減)の落ち込みが著しい。

業種別の構成比は、飲食料点小売業が全体の47.4%と相変わらず大きな比率を占めているが、54年調査の49.6%よりも2.2ポイント落ち込んでいる。

(2) 年間販売額

小売業の年間販売額は、3,252億7,746万円となり、54年調査に比べ28.1%(714億1,597万円)の増加となっている。

業種別(中分類)にみると、各種商品小売業が528億6,057万円(45.9%増)、織物・衣服・身の回り品小売業367億1,376万円(15.3%増)、飲食料点小売業1,011億9,720万円(17.0%増)、自動車・自転車小売業314億9,112万円(5.0%減)、家具・建具・什器小売業192億5,986万円(4.4%減)、その他の小売業837億5,495万円(82.3%増)、となっており、各種商品小売業とその他の小売業が著増している。

また、業種を小分類でみると、小売業平均の増加率を上回っているのは、婦人・子供服81.9%増、各種食料品48.5%増、自転車56.7%増、陶磁器・ガラス器32.6%増、その他什器122.6%増、農耕用品440.8%増、燃料165.7%増、中古品(中古自動車、自転車を除く)93.2%増である。反面、減少が著しいのは、洋服(婦人、子供服を除く)38.4%減、食肉

販売効率

産業分類	1店当たり従業者数			1店当たり年間販売額			従業者1人当たり年間販売額		
	54年	57年	対前回増加率	54年	57年	対前回増加率	54年	57年	対前回増加率
小売業	4.2	4.3	2.4	5,406	7,041	30.2	1,292	1,623	25.6
各種商品小売業	138.3	237.5	71.7	402,663	660,757	64.1	2,911	2,782	△4.4
織物・衣服・身のまわり品小売業	4.4	4.4	—	5,024	5,828	16.0	1,151	1,336	16.1
飲食料品小売業	3.1	3.3	6.5	3,715	4,621	24.4	1,217	1,385	13.8
自動車・自転車小売業	10.1	8.1	△19.8	20,984	17,495	△16.6	2,072	2,173	4.9
家具・建具・什器小売業	4.1	3.6	△12.2	4,925	4,977	1.1	1,201	1,393	16.0
その他の小売業	4.5	4.3	△4.4	3,972	6,837	72.1	874	1,594	82.4

(注) 飲食店を除く。

ヒント

繁栄

ぴんと

あなたの 魅力倍増は 商売繁昌の キメ手です

(2)

第五には、商売のほかには何か一つ自分の趣味を持っている女性です。

自分で打ちこむ仕事を持っていることはあなたの生きる力を持つことにつながり、いつも前向きで嬉嬉として生きることにもつながります。それだけに、周囲の人たちに魅力的に感じられるからです。また、仕事(商売)のほかにすべてを忘れて没

頭できる何かを持つことです。このことは、あなたの生甲斐にもつながり、あなたの人生をより豊かにします。あなたは「私の生甲斐は、趣味は、お仕事よ」とおっしゃるのでしたら話はまた別です。

第六には、問題意識をもって、努力をする女性です。

努力をする女性、しかも努力をしながらも、努力をしているように見えない女性であることです。また決

してあきらめたり立ち止まったりすることのない女性です。生れながらに持っているものにプラスし、絶えざる努力と心くばりによって、あなたははじめて本当に魅力ある女性、経営者に変身できるのです。

第七には、ユーモアのわかる女性です。

周囲の人のちょっとしたユーモアを素早く理解できる女性は魅力的です。しかも妙に才気ばらないで、おのずからユーモアを身につけている女性であったなら、なおさら素晴らしいことです。何を言ってもキョトンとして、みんなが笑い終ってからやっとそのおかしさに気がつくような人は、決して魅力ある女性とはい



菓子食品商社
株式会社 **カサハラ**

外 販 部

C&C (キャッシュ アンド キャリー) 部

函館市亀田本町61-14 TEL 42-3391(代)



えないです。

第八には、当り前のことを一生懸命にやる女性です。

「あなたの会社の〇嬢はすばらしいですね」「どういふ点がすばらしいのですか」「とても感じがいいん

ですよ、とにかく。私なんか、一度名前を言ったら、それからすっかり覚えてくれてー」「なるほど」よく耳にすることです。彼女のしたことはまさに従業員として当然のことをしたまでで何も特別なことをしたわけではなかったのです。しかし彼女は彼女のしなければならぬ仕事を完璧にやっただけです。それを立派にやっただけこそ、評価されたのです。

だが、その当り前の仕事を、気持ちよく、キチッと。そして相手に満足を与えるようにすることが、どんなにむずかしいことであり、また大切なことであるか知れないのです。

チャージングということは、その人が物や人を愛することができるということなのです。お客さまや身内の人や、仲間から愛されることばかりを期待して、愛することを知らない女性には魅力的とはいえないのです。

魅力といえますと、すぐにチャームと置き換え、そして化粧となり美容となってしまうのは、あまりにも短絡的過ぎるのではないかと思えます。真の美しさの魅力とは、あなたの日常生活の中で醸成されるのです。

魅力とは、魔術にも似たあなた（人間）のもつ不思議な力のことです。魅せられる—ということとは、心を奪われてしまうことであり、衝動買のお客さまを固定客にすることもありません。

ですから、他人の心を奪う魅力は、あなたの信念として抱きつづけている仕事に対する真摯な態度の中から生れてくるのです。

生きていく上での考え方の中に、あなたが犠牲になっても悔はないとする強靱さが宿った時、男性にしても、女性にしても、性を越えた人間としての魅力をもつものなのです。とくに、あなたは、妻になり、そして母親になり、子供の教育者、経営者、従業員、管理者など一人で七役も担うわけですから、それだけ魅力を発揮するチャンスに多く恵まれている気がしてならないのです。

反面、女性の魅力を削ぐ根本的なものとして上げられますのは、虚栄からくる優越感、それに甘えからくる怠け心、次に自説を絶対にまげないかたくなさではないでしょうか。

クリーンなエネルギーをおとどけてます。
ガス灯からビル冷暖房まで…



業務用ガス器具・セントラルヒーティング・厨房機器総合設備・設計製作施工

新函館都市ガス株式会社

北海道函館市万代町8番1号 代41-3175番



「明日では遅すぎる」

駅前地域再開発の期待

常議員 大越 勝 巳

(駅前地域再開発特別委員長)

昭和五十八年一月二十七日、今から約六カ月前に函館国際ホテルで、世紀の超大プロジェクトである青函トンネルの先進導坑貫通記念祝賀会が、仁杉鉄道建設公団総裁、堂垣内知事ほか関係者約四百人が出席し、執り行われたことは記憶に新しいところです。

政府は、厳しい国家財政の中で、当初予算の三倍近い膨大な支出を克服し、同トンネル完成に邁進しており、予定では明五十九年秋頃までには本坑が貫通し、更には昭和六十一年度中に青森側、本道側の取付線工事、線路布設用の諸整備が行われ、一応在来線での開業となつていきます。

顧りみますと、今から十余年前に青函トンネル工事が開始されましたが、この工事にともない、函館からの道路の拡幅舗装工事が行われ、地

域住民に利便性の向上をもたらし、これにより地元経済の発展に大いに貢献するなど、その波及効果は計り知れないものであります。

さて、本所函館駅前地域再開発特別委員会は、今から約十年前に発足し、以来諸先輩委員の努力により今日の委員会に引き継がれています。が、この委員会の使命はその名の通り駅前地域の再開発の促進にあるといえます。函館駅は本道の玄関であり、特に連絡船と列車の乗り継ぎ駅であり、さらにはこれに青函トンネルを加味したターミナル特殊駅です。従つて函館駅前地域の観光開発も含めて、都市再開発法に沿った整備の必要性を今日程緊要とする時はないと思つています。

国土縦貫の新幹線乗り入れの前哨的処置として、あと約二年前で在来線とはいいいながら直通列車が通ると

いう現実を我々は真剣に考えるとききています。

東北新幹線(大宮・盛岡間)は開業後約一年を経過しましたが、利用率は予想を上まわる一二五%余を記録しており、これら沿線の都市に少なからざる経済的メリットをもたらしております。拠点駅である仙台駅は約十年前、盛岡駅は約七年前からホテル、大型店、商店街の長期計画による整備近代化を行い、東北新幹線の開業に間に合せ、今日立派な成果を収めています。

しかし、本市においては、在来線の開業を約二年後に控えた今日、依然として開業後に対応する具体的行動がみられないのが現況です。

駅前地域の再開発が余りにも遅れている裡には、昭和五十九年の青函トンネル本坑貫通が起爆剤となり、東北新幹線開業時に仙台地区に見られたような、本州資本が駅前以外の任意地区に怒濤の如く押し寄せて来る可能性があるからだと聞いています。だとするならば、進出企業との調整、協力も将来への布石だと考えます。

駅舎改築についても臨調の行革が

らみの今日、国鉄本社予算は直ちに導入がないとしても、連絡船対策、在来線乗り入れのリミットからしても、中央において理想的キーテナントの政治的出現によつては、地元不在の実施がないとは誰も断言できません。従つて、市、会議所、都心商店街振興組合をはじめ全市民一丸となつての世論の喚起と、地元資本によるテナント参入の発想を心から期待するものです。

「海底トンネルは果してできるのだろうか」という杞憂も先進導坑の貫通で解決され、あと一年で青函トンネル本坑も貫通します。これを期してあらゆる業種による本州のマンモス資本が覇を競つて押し寄せて来ることは明らかです。「明日では遅すぎる」は映画のタイトルではありませんが、これらにいかに対処すべきかが市民の皆さまは勿論、特に経済関係各位への課題だと思ひます。皆さまのご英知と積極的行動によるご提案を本委員会にお寄せ下さい。